

# 第45期

INTERIM REPORT

## 中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日

### ごあいさつ

## 手のひらサイズのロマンを、つくります。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社は、日本のものづくりの技術を背景に1978年創業以来、腕時計バンド及び関連商品の製造を中心に、メガネフレームや日用品などの精密部品加工企業として事業を拡大してまいりました。

今、世界のものづくりには大きな変化の波が押し寄せています。気候変動をはじめとした様々なリスクに対応する必要から生じた「China プラス One」の動きはより鮮明となり、「NEXT China」へと進んでおります。当社は、ASEANに拠点があること金型設計・製造・プレス・研磨・表面処理迄を一貫生産して居り、「提案力・開発力・コスト力・技術力・品質力・管理力」の6つのチカラで、手のひらサイズのロマンにふさわしい製品をお届けすることにより、世界のものづくりに貢献してまいります。

さて、当社の第45期中間報告書（2022年4月1日から2022年9月30日まで）をお届けするにあたり、ご挨拶をかね、ここに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

2022年12月

 代表取締役社長 **井藤 秀雄**


### 経営理念

DREAM  
**夢を持って、**  
 BEAUTY  
**美を求め、**  
 FORM  
**形にする。**

私たち日本精密は「夢・美・形」の追求によって、はじめて輝く明日がやって来ると信じています。「実現できると信じる心」が、企業の継続と社員の幸せ、そして社会への貢献を実現する原動力となります。



## 連結業績の概要

当第2四半期連結累計期間（以下、当第2四半期という。）における世界経済は、ウクライナ情勢による不透明感がみられるほか、世界的な金融引締めによる金融資本の変動や物価上昇、供給面での制約などによる下振れリスクが懸念されるものの、総じて見ると、景気は緩やかな持ち直しの動きが続いております。国内におきましても、世界的な金融引締めによる景気の下振れリスクはありますが、ウィズコロナへの移行が進められる中、個人消費や設備投資などにおいて持ち直しの動きがみられます。

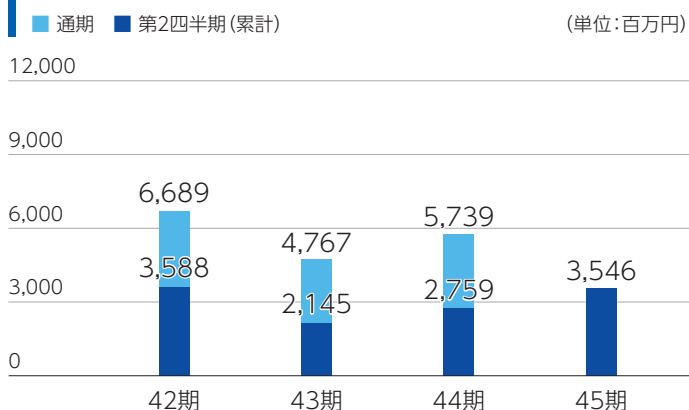
このような状況下、当社グループは業績拡大のため、またグローバルに信頼される企業集団としてその地位を着実に築いていくため、中期経営計画である「ASEANプロジェクトⅡ期」（令和5年3月期を最終年度とする4ヵ年計画）の最終年度を迎え、「収益の拡大」「生産能力及び採算性の向上」「サプライチェーンの基盤強化」をテーマに“手のひらロマンで世界を刻む”をコーポレートスローガンに掲げ、事業構造改革の推進とともに計画の達成に向けて引き続き取り組んでおります。

その結果、当第2四半期の連結売上高は3,546,184千円（前年同四半期は2,759,755千円）となりました。全てのセグメントにおきまして、円安進行の追い風もありましたが、コロナ禍前の水準に戻りつつあります。

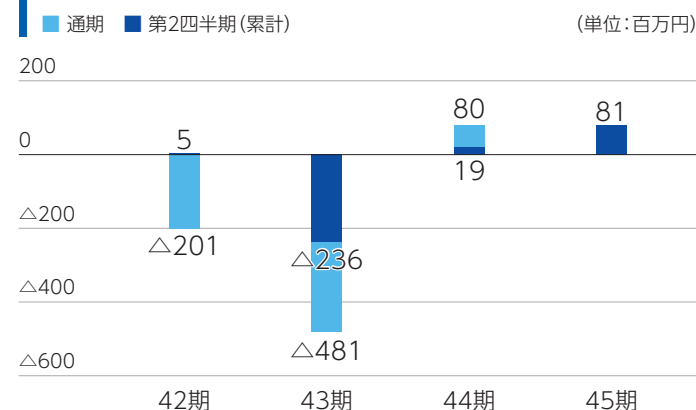
損益につきましては、売上総利益は、原材料価格の高騰や円安の進行による労務費などの製造コストは増加しましたが、令和3年7月9日から10月3日までの約3カ月間に及ぶホーチミン市における新型コロナウイルス感染症（以下、感染症という。）拡大にともなうロックダウンによるNISSEY VIETNAM CO.,LTD.（以下、ベトナム工場という。）の製造停止の影響の解消に加え、平成31年度から取り組んでおります事業構造改革にともなうASEAN地域の製造子会社2社を中心とした、生産性の向上及び製造原価の改善の実施など、採算性の向上を目指してきたことにより721,000千円（前年同四半期は576,634千円）となりました。営業利益は、販売管理費のコスト削減はほぼ一巡しましたが、売上総利益の増加などにより81,646千円（前年同四半期は19,458千円）となりました。経常利益は、急激な円安の進行による在外子会社向け外貨建債権の為替評価益等の為替差益の計上などにより497,720千円（前年同四半期は1,185千円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、事業構造改革にともなう事業構造改善費用の特別損失の計上、当社の黒字決算による法人税の計上などにより378,810千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失171,185千円）となりました。

## 連結業績ハイライト

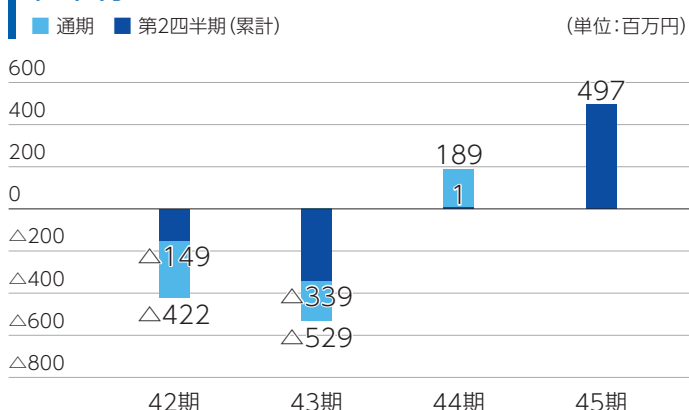
### 売上高



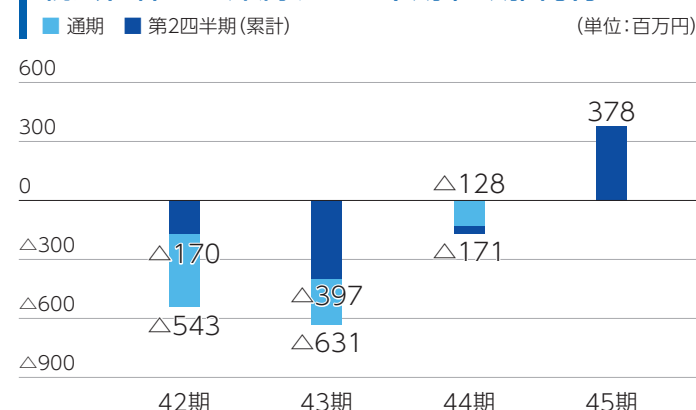
### 営業利益



### 経常利益



### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



# セグメント別の概況

(注) 第1四半期連結会計期間より、従来「その他事業」としていた報告セグメントの名称を「釣具・応用品事業」に変更しております。当該変更は、報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

## 時計関連

売上高構成比

**68.7%** 売上高 **2,436**百万円



時計関連の売上高は2,436,526千円となり、前年同四半期比で526,377千円(27.6%)増加しました。このうち、時計バンドの売上高は、海外の取引先は、前述のベトナム工場の製造停止の影響の解消に加え、受注も回復してきており約274%の増加となりました。また、国内の取引先も、ベトナム工場の製造停止の影響の解消に円安の進行が重なり約41%の増加となりました。しかしながら、時計外装部品の売上高は、ベトナム工場の製造停止の影響が少なく、国内の取引先からの受注が減少したため約7%の減少となりました。

これにより、セグメント利益は130,920千円(前年同四半期はセグメント損失133,806千円)となり、外注加工費や円安の進行による労務費などの製造コストの増加はありましたが黒字に転換しました。今後は、製造部門の事業構造改革を継続することなどにより、更なる収益の拡大を目指します。

## メガネフレーム

売上高構成比

**17.0%** 売上高 **602**百万円



メガネフレームの売上高は602,652千円となり、前年同四半期比で56,426千円(10.3%)増加しました。メガネフレームの販売子会社である(株)村井は、国内眼鏡市場は、大型チェーン店に比べ中小チェーン店などからの受注は依然として厳しい状況ではありますが、開催された展示会の来場者数が前年に比べ増加するなど復調の兆しが見えており、また訪問営業の完全再開などにより、売上高はコロナ禍前の水準に回復しつつあります。

これにより、セグメント利益は5,684千円(前年同四半期は54,389千円)となりました。今後は、円安の進行による仕入コスト上昇などの懸念はありますが、損益を重視した営業の強化継続などにより、更なる収益の拡大を目指します。

売上高 **3,546**百万円

## 釣具・応用品

売上高構成比

**14.3%** 売上高 **507**百万円



釣具・応用品の売上高は507,005千円となり、前年同四半期比で203,625千円(67.1%)増加しました。釣具用部品は、前述のベトナム工場の製造停止の影響の解消に加え、円安の進行が重なり、また感染症の影響もなく高級品向けを中心に好調を維持し、コロナ禍前を超える水準となっており216,322千円(82.7%)の増加となりました。静電気除去器など応用品は、感染症の影響などによる受注の減少が継続しており、11,620千円(29.0%)の減少となりました。

これにより、セグメント損失は54,486千円(前年同四半期は21,429千円)となりました。原材料価格の高騰や円安の進行による労務費などの製造コストの増加はありましたが、今後は、製造部門の事業構造改革を継続することなどにより、前期並みの収益確保を目指します。

## Topics

# SDGs に取り組もう!

日本精密 総務部

近年関心が高まっている「SDGs」。  
私たち日本精密もできることから取り組みを始めたいと思います。

当社工場のあるカンボジアはアジアの中でも貧困率が高い国と言われています。  
※国連開発計画 (UNDP) が発表した多次元貧困指数2018 (MPI) の推定37.2%

カンボジアに拠点を置く企業としても役立つよう、以下のとおり実施します。

### 着なくなった服をリユースしよう!!

- ◆ 集めた服はカンボジアにてリユースします。
- ◆ まだまだ着られる服は必要な人へ、ダメージの多いものはカンボジア工場内の掃除に利用します。

環境負荷を減らすためにも「捨てる」から「再活用」へ

ご協力よろしくお願いします

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

<http://www.nihon-s.co.jp/company-guide/csr-concepts/>

### SDGsとは?

Sustainable Development Goalsの略称です。  
持続可能な開発目標という意味です。  
2015年の国連サミットにおいて  
全ての加盟国が合意した、2030年までに  
「持続可能でよりよい社会の実現」を目指す  
世界共通の目標です。

### <NS取組目標>

**1** 貧困をなくそう

**12** つくる責任 つかう責任



## 会社概要／株式情報 (2022年9月30日現在)

### ■ 会社概要

商号	日本精密株式会社
設立	1978年8月
本社	〒332-0012 埼玉県川口市本町4-1-8川口センタービル8階 TEL: 048-225-5311 FAX: 048-226-5356
資本金	2,018,287千円
従業員	49名 (連結2,207名)
事業内容	時計バンド及び時計外装部品の製造、販売 メガネフレームの製造、販売 イオンプレーティング (表面処理加工) 釣具用部品、静電気除去器、その他製品の製造、販売
主要な関係会社	NISSEY VIETNAM CO.,LTD. NISSEY CAMBODIA CO.,LTD. 株式会社村井

### ■ 役員

代表取締役社長	井 藤 秀 雄
取締役	白 坂 敬 次
上席執行役員	権 經 訓
取締役	権 敬 錫
取締役	金 亨 錫
社外取締役	李 鎮 鎔
常勤監査役	守 屋 豊
社外監査役	佐 藤 和 彦
社外監査役	金 哲 敏
上席執行役員	朴 成 鎮
上席執行役員	上 林 一 男
執行役員	黒 澤 泰 明
執行役員	笠 原 泉 実
執行役員	西 沢

### ■ 株式の状況

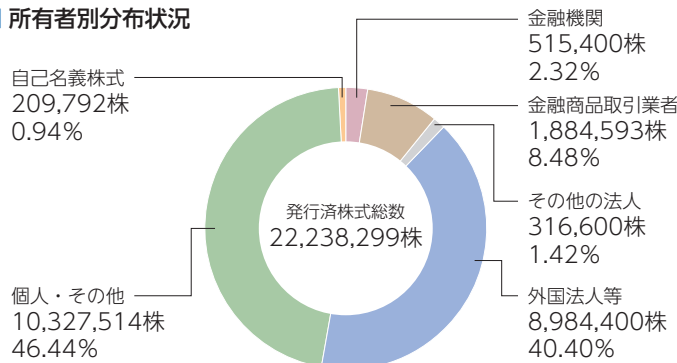
発行可能株式総数	39,000,000株
発行済株式総数	22,028,507株 (自己株式209,792株を除く)
株主数	3,608名

### ■ 大株主

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
株式会社 ジェンコ	5,063,000	22.98
株式会社 キュロー	2,525,300	11.46
キュキャピタルパートナーズ株式会社	1,119,000	5.08
宮 里 英 助	704,500	3.20
株式会社 S B I 証券	593,900	2.70
日本証券金融株式会社	398,400	1.81
井 藤 秀 雄	300,000	1.36
楽天証券株式会社	272,400	1.24
佐々木 憲 孝	183,000	0.83
F F G 証券株式会社	177,600	0.81

(注) 自己株式209,792株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### ■ 所有者別分布状況



### ■ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会 株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	毎年6月 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先 (注)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 (スタンダード)
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="http://www.nihon-s.co.jp/">http://www.nihon-s.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

### ■ ご案内

- 株式に関する住所変更等のお問合せおよびお届けについて  
株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。  
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座について  
特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。
- 未受領の配当金について  
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### ホームページのご紹介

当社ホームページでは、最新のニュースやIR情報など当社をご理解いただくための様々な情報を提供いたしております。





<http://www.nihon-s.co.jp/>